

★★ The Future We Want

Name: 小林 優梨香 Age: 11才 Date: 5/6(日)

~地球全体が一丸となって、能動的、積極的な行動を以て
環境問題が叫ばれて長いことたつのに
地球環境は改善されず、むしろ悪化して
います。そんな中、私は新聞で国ごと
に二酸化炭素の排出量を減らす目標値が
違うことを知りました。それに違和感を
覚え、悲しくなりました。そんな違いをな
せ"作るのだ"でしょう？先進国だから、発展
途上国だから、という単純な理由だけで
減らす目標に差をつけているのです。
そんなことで差をつけては環境問題
を一丸となって考えていることにならな
いのではないのでしょうか？
しかも排出権を売り買いできると言い
ます。みんなで協力して二酸化炭素を
削減する、というと聞こえはよいです
が、ややもするとよりかかりあいによ
うで、また、責任のなすりつけあいによ
うで、発展

★★

のかと思いましたか、やはり「うちの国がやらなくてもどこかの国がやってくれる」という思いか、それぞれの国にあるからではないのか、とも思いました。私はもっと、それぞれの国がその国の実情や身の丈にあった、対策を身近でできることから、今まで以上に真剣に取り組んでほしいです。国レベルでもそうですが個人でもかんはこれはいいいと思います。私の学校では夏休み前になると「電気を減らそう」という紙を配ります。私はその時には節電を心がけますが、夏休みが過ぎると、次第に忘れてしまったことを反省します。年間通して節電を続けていきたいです。また、食器を洗う時に洗剤をたくさん使って水を汚したり、無駄使いしないとか、食べ物には地産地消がいいという考えをいつも念頭におき、おっかいを頼ま

れたらなるべく近い産地のものを買うことも心がけていきたいと思えます。ささやかでも、一つ一つ着実に積み上げていくことで私なりに環境問題の解決に役立ちたいのです。個人の力が集まって国の力となれば「環境問題なんていう言葉はもうない未来がまっているかもしれない」。

今までは環境問題を自覚し解決法を実行するにしてもかけ声ばかりで「でもみんなやってないし……」という気持ちもあつたかもしれないし、相次ぐ環境問題に対応する時間も必要だったと思えます。でも、もうこれ以上「環境を悪化させるわけにはいきません。みんなが地球人として自覚を持ち、他国との協調も大事だけど自分の国でできることは他国に先んじて他国以上にやる」という意識を持つ、それが環境

